

カリキュラム

コースコード：24-403

タイトル	IT導入とデータを活用した支援の進め方		
研修のねらい	中小・小規模事業者の目的や規模に合ったITツールの導入・活用法を理解するとともに、説得力のあるアドバイスの裏付となるデータ分析の手法を習得し、経営支援の質の向上を図ります。		
研修の特徴	<ul style="list-style-type: none"> データの収集、加工、並びに分析手法が身につきます。 分析結果に説得力を持たせた説明ができるようになります。 事業者に伴走した支援のあり方について検討します。 		
対象者	中小企業支援担当者又は中小企業支援協力機関の職員で中堅担当者又は職務経験5年程度以上の方 ※DX化・IT導入・活用支援のスキルや、データ分析を活用した経営支援の質の向上を図りたい方	定員	20名
		研修期間/時間数	2024年5月29日(水)～31日(金)
			3日
		会場	中小企業大学校瀬戸校 PC実習室
受講料	23,000円		

科目構成

日付	時間	科目	内容	講師
5/29 (水)	9:20～9:40	開講式・オリエンテーション		
	9:40～12:00	データ分析を活用した経営支援のポイント	持続的な経営を支援するために、客観的なデータを活用していくポイントを学びます。 ・データの有無が事業者や関係者の心を動かす ・データの有効活用で質の高い事業計画策定支援へと結びつく ・事業者の想いをデータで後押しする	株式会社 道家経営・法務事務所 代表取締役 中小企業診断士 道家 睦明
	13:00～15:00	データの取り方	行政データ以外にインターネットを中心に提供されているデータや情報のうち、事業計画策定支援に活用できるデータソースとその活用方法を実践的に学びます。 ・市場環境の分析(脅威と機会×現状と今後)に活用できるものは何か ・自社の強み/弱みについて客観的に確認できるものは何か	
	15:00～17:40	データの活用	データソースからのデータの組合せでどんなことが見えてくるか、また、どんなことが提案できるかを、具体的かつ複数の事例とともに実践的に学びます。 ・データを少し活用するだけでこれまで見えなかったものが見えてくる ・事業者の強み自体もあぶり出してくれる	
	18:10～19:10	受講者交流会		
5/30 (木)	9:30～10:30	中小・小規模事業者のIT活用の現状と支援のあり方	DX化・IT活用・導入が遅れている中小・小規模事業者DX化・IT化を支援するために有用なITツールやシステムについて、その現状と支援のあり方を学びます。	
	10:30～12:30 13:30～17:30	ケーススタディ(1)	既存店の展開について、市場動向と自店の強み・弱みをデータであぶり出し、事業計画への提案を具体的に考えます。 ・事業者の周辺状況の確認と解決策の検討 ・事業者への提案形式による解決策の発表	
5/31 (金)	9:00～12:00 13:00～15:30	ケーススタディ(2)	新事業への進出を検討している事業者に対し、その事業の可能性をデータで客観的にあぶり出し、事業計画への提案へと結びつけます。 ・ターゲットとする市場の動向や競争状況等の確認と事業計画の検討 ・事業者への提案形式による解決策の発表	
	15:30～16:00	研修のまとめ	今回の研修で学んだことや現場での実践に向けた気づきを共有し、データを活用した事業者への支援のあり方について改めて考えます。	
	16:10～16:20	閉講式		

講師氏名	略歴
道家 睦明 (どうけ むつあき) 株式会社 道家経営・法務事務所 代表取締役 中小企業診断士	慶応義塾大学卒業。大手広告会社に勤務し、社内教育部門およびマーケティング企画部門にて人材教育プログラム開発や様々な業種のマーケティング計画・コミュニケーション計画・販売促進計画の立案・実施に携わるとともに、新規事業の事業計画立案・実施、異業種の事業コラボレーションのプロデュース等も担当。2012年に道家経営・法務事務所を開設。2014年に株式会社道家経営・法務事務所として法人化。独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部 中小企業アドバイザー。専門分野：新規事業、新製品開発、新規市場開拓、創業など。